

<div style="text-align: right; padding-right: 10px;">発行者名</div> 採択基準	教育出版（音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ページに示された学習目標を基に、知識及び技能を身に付けたり、他の教材と比較したりするページを設け、音楽表現の幅が広がるよう工夫がなされている。 ・ 音楽を形づくっている要素を軸にして「学習 MAP」に表示し、「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習できるよう配慮がなされている。 ・ 比較する教材を多く取り入れ、音楽の多様性に触れながら音楽に対する感性を豊かにしていくことができるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 <input type="checkbox"/> 内容の程度 <input type="checkbox"/> 学習活動への誘索性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「学習 MAP」に領域・分野ごとに育成を目指す資質・能力を示してあり、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がなされている。 (2) 同じ構成の曲を並べて配置して、比べて学習を深めるよう設定することで、生徒自らが音楽の共通性や固有性を考え、対話しながら音楽への理解を深められるよう工夫がなされている。 (3) 楽曲の特徴について、個や全体で考えたことをそれぞれ教科書に書き込めるようにしてあり、協働的に学び、理解が深まるよう工夫がなされている。 (4) 鑑賞では、多様な音楽が配置され、聴き比べやワークシートへの記入、体験的・対話的な活動を通して、音楽のよさを味わうことができるよう工夫がなされている。 (5) 生徒の学習意欲を喚起し、曲の情景を思い浮かべられるような写真やメッセージが巻頭に掲載され、巻末には楽典や楽器が折り込みで印刷され、多様な情報を見渡せるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 <input type="checkbox"/> 単元・題材の配列 <input type="checkbox"/> 内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 親しみやすい教材曲や題材が配列されており、小学校からの接続を意識し、学習が無理なく系統的に進められるよう配慮がなされている。 (2) 「Active!」では、同じ音楽を形づくっている要素同士を比べる活動により、段階的に学べるよう工夫がなされている。 (3) 鑑賞では、異なる作曲家が同じ歌詞を用いた楽曲を比較鑑賞する活動等を示し、多様な学習ができるよう工夫がなされている。 (4) 「世界や日本の音楽」では楽器や楽曲が詳しく解説されており、生徒が興味をもち無理なく学習できるよう工夫がなされている。 (5) 歌唱共通教材では、曲の情景に関わる鮮明な写真を掲載し、生徒の意欲を引き出し情景を思い浮かべて表現が考えられるよう工夫がなされている。 (6) 比較鑑賞の記録、学習内容等を教科書に書き込めるようになっており、学習の振り返りができるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の共通性や固有性、音楽の特徴や多様性への理解が深まるよう比較するページが多く設けられており、対話的・協働的な学習が行われるよう工夫がなされている。 ・ 楽曲を比較しやすいよう配置され「Active!」のページで生徒自らが主体的に学び音楽への理解を深められるよう工夫がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育芸術社（中学生の音楽）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教材ページに学習目標が提示され、主体的に学んだり、創意工夫を生かした音楽表現をしたりするために必要な技能を学ぶ道筋が明確になるよう工夫がなされている。 ・ 主な音楽を形づくっている要素が示され、それを窓口に「音楽の見方・考え方」を働かせながら学習できるよう配慮がなされている。 ・ 音や音楽と生活や文化との関わりについて考える特集や資料により、音楽に関する感性が豊かになるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の発達段階に応じた学習内容が配置され、目次に続くページに各教材で育成を目指す資質・能力を示すことで、見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 作者からのメッセージや曲の背景を示して生徒の興味・関心を高め、手順や鑑賞の観点を示すことで、理解が深まるよう工夫がなされている。 (3) 豊富な資料、キャラクターの吹き出し等により生徒が学習の流れを見通したり自己の考えを広げたりしながら、対話を通して深い学びができるよう配慮がなされている。 (4) 鑑賞では、多様な音楽が配置され、写真や説明で理解を深め、聴き比べる活動や体験する活動を通して、実感を伴いながら音楽のよさを味わうことができるよう工夫がなされている。 (5) 情景を想起できる写真や資料が多く掲載されており、学習目標、活動文、音楽を形づくっている要素の三つを統一した色とレイアウトで紙面構成され、一目で分かるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) ねらいを明確化した教材や効果的な選曲により、生徒の発達段階に応じて資質・能力を育むことができるよう題材が配列されており、系統的に学習できるよう配慮がなされている。 (2) 「学びのコンパス」のページを手順に沿って学習を進めることで、段階を追って学習を深められるよう工夫がなされている。 (3) 鑑賞では、指揮や絵譜等を用いた伝統的な歌唱の謡等、体験活動を取り入れて実感を伴って学べるよう工夫がなされている。 (4) 個に応じた弾力的に進めていけるよう、楽譜や音源を提示する二次元コードが適所に配置されている。 (5) 多様な音楽活動の写真や、吹き出しを入れることにより、幅広い音楽の価値観を学びながら、言語活動や協働的な学びの手助けとなるよう工夫がなされている。 (6) 楽曲から知覚・感受したことや学習内容を書き込めるようになっており、学習の振り返りができるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活や社会における音楽の役割についてのページや、我が国や郷土の伝統音楽についてのページが充実しており、音楽文化と主体的に関わっていく態度を養えるよう工夫がなされている。 ・ その教材でどのような力が付くのが示され、生徒が見通しをもって学習することができるよう工夫がなされている。